

Putzmeister

#95 | MAY 2024

PM POST



HIGHLIGHTS



PRODUCT NEWS

持続可能なモビリティのための協力 >>



PUTZMEISTER WORLD

ティチーノ (スイス) での卓越したコンクリート打設 >>

東京で好評を博した iONTRON トラックマウント式コンクリートポンプ >>

プツマイスターインダストリーテクニクのプロジェクトマネジメント >>

サクラメント (米国) のアメリカ川での橋梁建設 >>

受注の新記録: 60 台の Mixokret M 760 >>

クウェートにおける住宅施設プロジェクト >>

Aggregate Industries 社向けの eMixer 2 号機 >>



EVENTS

iONTRON の日本市場への導入 >>

World of Concrete 2024 >>

プツマイスター南アフリカ 50 周年 >>

2024 年 5 月 13 日 ~ 17 日に開催された IFAT München >>



Putzmeister

FOLLOW US:





Putzmeister



HOME
EVENTS

プツマイスタージャパン株式会社

iONTRON の日本市場への導入



M 42-5 iONTRON ハイブリッドコンクリートポンプの日本市場への導入は、無限の可能性を秘めた挑戦です。2023年10月末、日本で最初の42シリーズのiONTRONが発表されました。

この紹介イベントは、お客様のスムーズなアクセスを考慮して、成田空港近くのホテルで開催されました。プツマイスタージャパンは、2日間にわたるイベントホールとコンクリートポンプ展示のための屋外エリアを借り上げました。2日間のイベントには、日

本全国から130社以上のお客様にお集まりいただきました。

この紹介イベントは、プツマイスタージャパンの岡勇樹 CEO のスピーチで始まり、日本の建設業界におけるSDG商品（SDG = 持続可能な開発目標）の必要性を強調しました。

続いて、プツマイスタージャパンの神谷正営業部長がプレゼンテーションを行い、展示製品のスペックを紹介しました。>>



技術部のヴァイバフ・ジャダフ (VJ) は、iONTRON 機の特長や利点を紹介するだけでなく、このマシンの持続可能性についての説明も行いました。このプレゼンテーションでは、iONTRON の背景にある技術革新についても紹介させていただきました。CO2 排出量と騒音公害を削減し、日本の建設業に革命をもたらすものとなるプツマイスターの戦略は、ご参加いただいた皆様の印象に強く残るものとなりました。VJ はまた、直感的で正確、かつユーザーフレンドリーな新しい Ergonic 3 システムについての紹介も行いました。最後に、池田 周五が Ergonic 3 対応のマシンコックピットについて説明しました。

デモンストレーションと実体験

iONTRON の製品発表会は単なるプレゼンテーションにとどまらず、ご参加いただいた皆様には、積極的に実践的なデモンストレーションに参加していただきました。

まず、神谷が製造チームと協力して、M42-5 iONTRON の E モードとディーゼルモードについて紹介しました。E モードでの騒音低減は素晴らしいもので、お客様の予想をはるかに超えるものでした。

ご来場いただいた皆様の多くが、持続可能な製品を、自社と自国の、より環境に優しい未来への一歩と捉え、そのための心構えができているとお話しされていました。iONTRON は日本市場に大きなインパクトを与え、環境に優しいソリューションに対する需要の高まりに応える可能性を秘めています。

和食ビュッフェと飲み会

日が落ちると、イベントは日本式の飲み会へと変わりました。岡勇樹が音頭を取っての「乾杯」が雰囲気打ち解けたものにし、お客様は日本の伝統的な飲み物とともに夕食を楽しまれました。飲み会では、プツマイスタージャパンが一人一人のお客様をおもてなしし、この日の感謝の気持ちを伝えさせていただきました。この飲み会にご参加いただいた皆様同士の距離を縮めただけでなく、さまざまな意見や感想、提案を交換する機会ともなりました。この2日間のイベントは、プツマイスターの持続可能なソリューションを紹介するだけでなく、より環境に優しく、より責任ある世界への情熱を共有するものともなりました。私たちは、iONTRON 製品が、より環境に優しく、より持続可能な未来を創造するために重要な役割を果たすものと確信しています。



iONTRON



Putzmeister



HOME

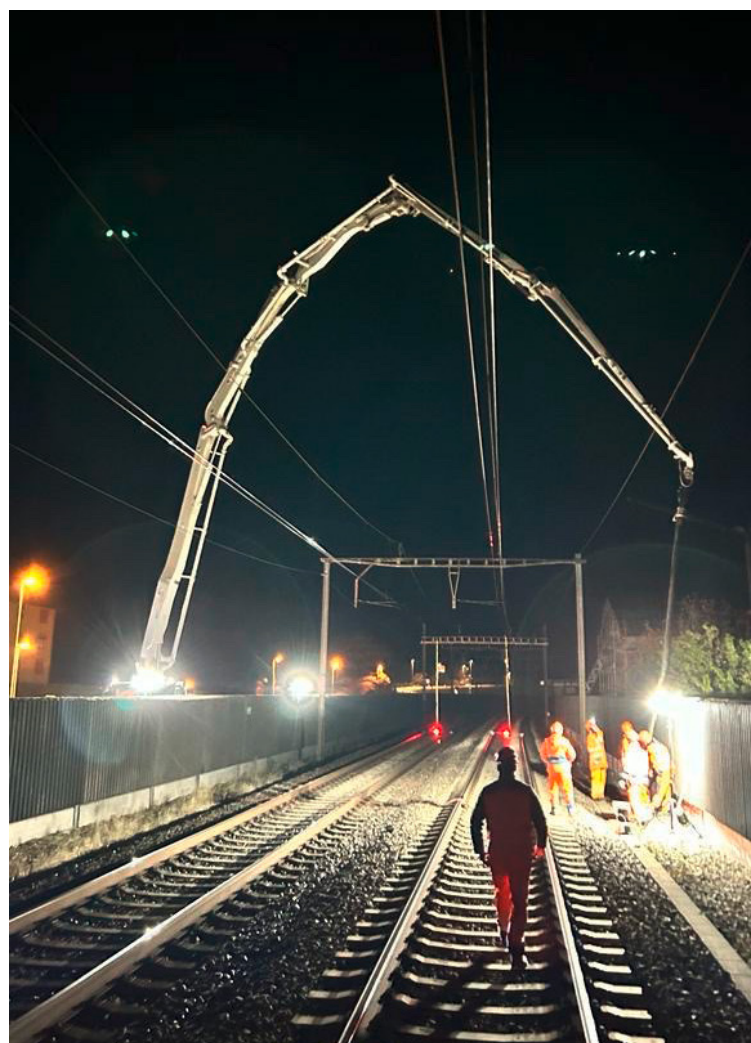
PUTZMEISTER WORLD

ティチーノ（スイス）での卓越したコンクリート打設を可能にするインテリジェントな制御とフレキシブルなサポート

狭いスペースや動かすことのできない障害物は、工事現場の機械や作業員に特別な要求を設定することがあります。Robert Aebi AG 社は、ティチーノのコンクリート圧送サービスプロバイダー Genio Beton SA 社に、最新のトラックマウント式コンクリートポンプ M 38-5 を導入しました。このおかげで、交通量の多いゴットアルド鉄道の地下にある古い下水道で、安全性を考慮したコンクリート打設を実施することができ、鉄道堤防の安定性を確保することができました。

チャレンジングな条件

鉄道交通の混乱を最小限に抑えるため、オゾニャ（スイス、ティチーノ州）での作業は夜間に行なわれ、道路は全面閉鎖されました。SBB（スイス連邦鉄道）との緊密な協力のもと準備が進められ、最終列車が通過した後、架線の通電が解除され、アースケーブルが敷設されました。コンクリートを打設するために、ブームは両方の線路の上と送電線の下を旋回しなければならず、格段の精度が必要とされました。架線までの距離を確保し、ブームの制御を維持し、正確な埋め戻しを保証しなければなりません。>>



M 38-5 トラックマウント式コンクリートポンプは、両方の線路と架線の上を旋回しなければならない



インテリジェントなブーム制御による精度

コンクリートポンプを購入する際、Robert Aebi AG の専門家は Genio 社に、オペレーターが簡単にブームを片手で、正確で迅速、そして安全に動かして位置決めすることを可能にする、iBC (インテリジェントブームコントロール) の使用を勧めました。個々のブームアームアームは別々にブロックすることができ、打設アームの高さはコンクリート打設中に指定することができます。これにより、架線との接触を確実に回避することができました。

プツマイスターの新しいトラックマウント式コンクリートポンプ BSF 38-5.17 iLS には約 38 m の垂直方向リーチがあり、高感度 Ergonic 3 制御システムを装備しています。また、最新のコンクリートポンプ、iLS (インテリジェントローストローク) も取り付けられています。

このポンプは EPS 制御システムと連携してコンクリート打設時のエンドホースのバタつきを最小限に抑え、燃料を最大 25 % 節約し、ポンプ性能の向上と耐用年数の延長を実現します。

下水道のコンクリートは締め固めることができないため、自己充填コンクリートが使用されました。最新のプツマイスター製トラックマウント式コンクリートポンプを使用して、必要とされる 6 m³ のコンクリートを、古い下水道に安全かつ迅速に打設することができました。

ergonic[®] inside 3



自己充填コンクリートは、細い立坑を通して下水道に打設される

Genio 社について:

スイスの Genio Beton SA 社は、コンクリートに関するプランニング、製造、供給を手がけています。同社は 1964 年に設立され、1965 年にカスティオーネ (スイス) にある 60 m³/h の能力を持つ最初のコンクリートミキシングプラントにより事業を開始しました。このコンクリートポンプサービスプロバイダーには現在、ベリンツォーナ (スイス) からアイロロ (スイス) にかけて、4 箇所のコンクリートミキシングプラントがあります。

Robert Aebi 社について:

1881 年の創業以来、スイスのレーゲンスドルフに本社を構える Robert Aebi AG 社は、建設と農業の分野で確固たる地位を築いてきました。この企業グループは、商社およびサービス会社として、国内外のメーカーの機械、設備、車両をスイスおよび南ドイツ市場に供給しています。



Putzmeister



HOME

PUTZMEISTER WORLD

日本での使用に成功:

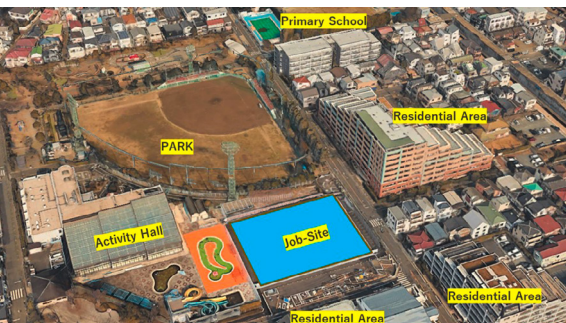
東京で好評を博したiONTRON トラックマウント式コンクリートポンプ

2024年2月14日、東京都心の住宅地、公園、学校に近接した建設現場で、iONTRON コンクリートポンプの実地試験が行われ、成功を収めました。このテストは、実際の条件下でのシステムの性能を明らかにし、印象に残るものとなりました。iONTRON ドライブの騒音レベルの低減と、エミッションフリー特性は、特に注目されるものとなりました。

この工事現場は、プツマイスタージャパンの主要なお客様のひとつである日本圧送株式会社と、日本最大のゼネコンのひとつである大成建設株式会社との緊密な協力のもとに開発・運営されたものです。iONTRON システムは、建設現場の静かな環境においてきわめて効果的であることを実証しました。騒音レベルを大幅に低減することで、住民や公園を訪れる人々、学童の快適な環境の維持に大きく貢献しました。同時に排出ガスも大幅に削減され、建設現場の 대기環境の改善にも貢献しました。この建設現場での挑戦は、特に約 25 bar で最大 60 m³/h という iONTRON ドライブの性能限界を考慮すると、決してたやすいものではありませんでした。1 日合計 440 m³ のポンプ容量という目標は、難しい課題でした。M 42-5 iONTRON はこの難問を見事にクリアしました。



工事現場での好意的な反応は終日変わることなく、このマシンの性能と技術は関係者全員の印象に残るものとなりました。あるお客様は、「このテストは、建設業界における持続可能な未来の可能性を示している。このような革新的なソリューションがあれば、将来の世代のために、よりクリーンで静かな、環境に優しい世界を作ることができる。」と楽観的な見通しを語ってくださいました。



現在の工事現場の写真、これは住宅地の市営下水道の立坑。



Putzmeister



HOME

PRODUCT NEWS

建設業界における持続可能なモビリティのための協力

今後、プツマイスターと Netze BW Sparte Dienstleistungen 社は、ドイツの建設会社に対し、完全電気式ミキサー車と、それに対応する会社専用の充電インフラからなる完全パッケージを提供する予定です。

未来の工事現場は、低排出、低騒音、そして持続可能なものでなければならない。コンクリート圧送の世界的なスペシャリストである建設機械メーカーのプツマイスターと Netze BW Sparte Dienstleistungen 社は、そのように考えています。このバーデン・ヴュルテンベルク州（ドイツ）の2社は、今後エレクトロモビリティの分野で協力することになります。

プツマイスターは SANY eTrucksをベースに、iONTRON というブランド名で、完全電気式のミキサー車と排出ガスフリーのコンクリートポンプを建設会社に提供します。プツマイスターは、株式市場に上場している世界的企業である SANY（三一重工）グループの一員であり、ミキサー車には、同グループの純粋なバッテリー駆動トラックモデルのシャーシを使用しています。ミキサー車は 350 kWh のバッテリーで駆動しますが、コンクリートポンプは工事現場のクレーン同様に、工事現場の電源から直接給電されます。これにより建設会社は、大気汚染物質や騒音の排出が少ない現場作業を実現するためのマシンを手にすることができます。

工場のスムーズな進行のためには、車両が十分に充電されていることが最も重要になります。この場合、ガソリン車やディーゼル車への供給とは大きく異なるインフラが必要となります。

Netze BW Sparte Dienstleistungen 社は共同事業の一環として、社内専用充電インフラについて、コンサルティング、コンセプト、プランニング、建設から運営管理までをカバーする完全なソリューションを提供します。同社には長年のノウハウがあり、たとえば、EnBW社 との契約によりドイツ最大の急速充電ネットワークである EnBW HyperNetz の急速充電ロケーションの設置に携わっています。プツマイスターで電動ミキサーの市場投入を担当するケヴィン・アイヒエレにとって、建設業界の電動化は必須のことです。「iONTRON 製品シリーズと SANYの eTrucks により、私たちは気候保護の強化に積極的に貢献し、建設プロセスにおける CO2 排出量の削減を促進することができます。電動車両は静かで排出ガスを出さないため、工事現場、特に市街地や郊外での使用に最適です。」 >>





Putzmeister



HOME

PRODUCT NEWS

ロジスティクスと物品の移動は、建設業界にとって重要な事項です。資材や機材が時間通りに工事現場に到着し、スムーズに移動できることは非常に重要です。適切な充電インフラは、低排出ガス車や電気自動車をそれぞれの要件に応じて使用可能な状態に維持するためのカギとなるものです。「私たちは気候保護に真剣に取り組み、そのことについての責任を引き受けています。」 Netze BW Sparte Dienstleistungen 社で電気車両の充電インフラソリューションの開発と販売を担当するアヒム・ロッター氏は、そう話しています。

両社は、今後予定されているお客様プロジェクトによって、持続可能性に配慮した電化による変革が建設業界においてどのように成功するかを具体的に示したいと考えています。

転換期の建設業界 - 気候保護が焦点

建設産業は世界的に成長しており、気候や環境にさまざまな影響を及ぼしています。特に都市部では、増々多くの新しい道路や建物が建設されています。世界的な気候変動の影響により、建設業界はカーボンニュートラルなアプローチを採用し、責任を負うよう求められています。世界セメントコンクリート協会 (Global Cement and Concrete Association) は、2030 年までに2020 年比で4分の1のCO2 排出量削減を計画しています。建設業界には、政治的・社会的目標を実現するための技術的・革新的な解決策が数多くあります。ここでは、省資源の建設資材と建設車両からの排出ガスの削減が主な焦点となります。プツマイスターと Netze BW Sparte Dienstleistungen 社との協力は、ドイツの建設会社の持続可能なモビリティの実現をサポートするものです。





スタンドアローンのポンプはほとんどない

プツマイスターインダストリー リーテクノロジックの卓越した 包括的なプロジェクトマネージメント

オーストリアの Fundermax 社は、ザンクト・ヴァイト / グランの第 1 工場で流動床焼成による 2 つの焼却ラインを操業しており、下水汚泥の共同焼却の許可を取得しています。

現在、下水汚泥は既存の受け入れプラントで受け入れられ、一時的に保管された後、2 つのボイラープラントに送られます。

既存の流動床炉をさらに経済的に稼働させるため、下水汚泥処理システムを拡張し、受け入れから焼却までのシステム一式をプツマイスター社から供給することになりました。

特に難しかったのは、既存の建物に 64 m³ のレセプションバンカーと 500 m³ の貯蔵サイロを建設することでした。サイロの組み立てはすべて顧客の敷地内で行われました。サイロはその大きさゆえに全体をそのまま輸送することができないため、ハーフシェルとして工事現場に運ばれ、そこで溶接されて丸いサイロブロックとなりました。この方法には、輸送や取り扱いの面でのメリットがありました。しかしながら、Fundermax 社のように現場でこのようなプロジェクトを行うには、それに応じた広さの立ち入り禁止区域を数週間確保する必要があります。サイロ部品を搬入するためには、建屋の屋根を開けなければなりません。高さ 17 メートルのサイロは、125 トンのクレーンを使って開口部が設けられた屋根から既存のホールに正確に降ろされ、既設のサイロフロアに 1 センチ単位の精度で設置されました。



その後、開口部は再び閉じられました。サイロは現在屋根の上に突き出していて、これが最終的な状態です。悪天候でもホールが濡れないように、サイロには「レインカラー」が取り付けられました。これはホールの屋根とサイロの壁の隙間を塞ぎ、屋根を通して雨を排出するものです。

プツマイスターは、ソリューションプロバイダーとして、このプロジェクトのプランニング、管理、実施の全責任を負いました。 >>



Putzmeister



HOME

PUTZMEISTER WORLD



油圧シリンダーが、二重シャフトの排出 / プレプレススクリーへの供給を行うスライディングフレームを駆動させます。これにより汚泥はピストンポンプに送られ、焼却炉に運ばれます。

すべてのコンポーネントは共通の油圧ユニットによって駆動されます。このソリューションにより、部品点数が大幅に削減され、メンテナンスや整備が簡素化されます。



サイロ技術の詳細

プツマイスターからの納品内容：

- レセプションバンカー 64 m³ (4 x 4 x 4 m)
- スライディングフレーム PDSL 4040
- 排出スクリー SHS 3752 SH
- 汚泥ポンプ KOS 1480 HP
- 油圧装置 HA L 200
- レセプションバンカーから貯蔵サイロまでのパイプラインエンジニアリング Ø 200 mm
- 異物分離装置 FKA 200
- 貯蔵サイロ 500 m³ (Ø 6 m)
- スライディングフレーム PDSF 6000
- プレプレススクリー SHS 5342 SH
- 汚泥ポンプ KOS 1070 HP
- 油圧装置 HA 75 CI
- スイッチキャビネット SEP 315
- 貯蔵サイロからボイラーまでのパイプラインエンジニアリング Ø 150 mm

動作パラメータ：

- レセプションから貯蔵サイロまで 50 m³/h
- 貯蔵サイロから焼却炉まで 14 m³/h

圧送物質：

- 都市下水汚泥、乾物含有率約 15 ~ 35 %





Putzmeister



HOME

PUTZMEISTER WORLD

カリフォルニア (米国) の重要なコネクションをサポート

サクラメント (米国、カリフォルニア州) のアメリカ川を渡るスムーズな交通の流れ



キャピタルシティフリーウェイのアメリカ川橋梁は、サクラメントのダウンタウンとイーストサクラメントの医療センター、事業所やオフィス、その他の施設と通勤者を結んでいます。全長 2.4 km のこの橋は、1954 年に片側 2 車線で建設されました。1966 年、中央分離帯に両方向向けに各 1 車線が追加されました。1977 年と 1988 年、アメリカ川橋梁のさまざまな箇所耐震補強工事が行われました。

現在、この橋は車道に横方向と縦方向のひび割れがあり、コンクリートは剥落し、コンクリート表面には腐食性の塩化物が多く含まれているため、交通安全上のリスクがあります。このためカリフォルニア州運輸局 (Caltrans) は、既存のコンクリートデッキを撤去・交換し、橋の幅を広げ、自転車・歩行者専用道路を追加する 2 億ドルの橋梁改修プロジェクトに着手しました。 >>



工事は 2022 年に始まり、2026 年の完成を予定しています。カリフォルニア州、オレゴン州、ワシントン州で事業を展開する Conco Pumping 社は、American River Construction (ARC) 社と共同で、2022 年後半に 4 本の橋脚の打設を開始し、その後、新しい道路の打設を行いました。

難しい課題

財政的な理由から、ARC 社は河川での建設作業を容易にするために浮体式作業台やはしけを設置しなければなりません。この珍しい状況を考慮し、ARC 社はコンクリートポンプの請負業者として Conco Pumping 社を選びました。このポンプサービス会社は、この複雑なプロジェクトに 3 台のプツマイスター製トラックマウント式コンクリートポンプ (39Z m トラックマウント式コンクリートポンプ、MX32-36 定置式ブーム、MX34-38 定置式ブーム) を選択しました。

38Z 定置式ブームは台船上に設置され、39Z トラックマウント式コンクリートポンプによって、長さ 213 m のブリッジを介してトラスの囲い堰の間にコンクリートが供給されました。

38Z 定置式ブームの垂直方向リーチは 37.5 m で、4 本のアームを備えたフレキシブルなマルチ Z ブームを装備しており、.13 HPD コアポンプを装備した 39Z トラックマウント式コンクリートポンプが、長距離の圧送を可能にしました。

Conco Pumping 社の取締役のブライアン・リワードフスキー氏は、「これは極めて珍しい構造です。私は 30 年以上このビジネスに携わっていますが、こんな構造は滅多にありません。プツマイスターはシンプルで信頼性が高いので、私たちはコンクリート打設作業のすべてにプツマイスターを使用しています。プツマイスターのこの種の装置は完成されていて、この 2 台のマシンがこのプロジェクトの成功のカギでした」とお話ししてくださいました。

.13 HPD コアポンプは通常、地上建築物に使用されるものです。最大吐出量 138 m³ / 時、圧力 85 bar (ロッド側負荷) の市場で最も強力で耐久性のあるポンプです。工事現場での高圧と長距離の圧送にも耐える堅牢性を備えています。

このポンプは、橋梁建設で使用される、重く粗い骨材と低い水/セメント比の典型的なコンクリートミックスを長距離にわたって効率的に圧送する能力のために決定的に重要なものでした。リワードフスキー



39-Z トラックマウント式コンクリートポンプはトラバース上に設置され、囲い堰の間に架けられた長さ 213 m のブリッジを介して、台船上のブームまでコンクリートを圧送した。
.13 HPD コアポンプは、この長距離にわたって 39Z および 38Z ブームにコンクリートを確実に供給した。

氏は、「標準的な橋梁用コンクリートミックスは、通常、長距離の打設ブームによる圧送には適していません。しかしながら 13HPD コアポンプがあったので、これらの問題を克服し、工事を完成させるのに必要な性能を手に入れることができました。素晴らしい装置です。」とおっしゃっています。

緊密なパートナーシップ

Conco Pumping 社はゼネコンと協力し、コンクリートを圧送するための長さ 213 m のパイプラインを敷設しました。ポンプメーカーの技術部門と相談し、エンジニアはブームを台船に取り付けるための特別な装置を設計しました。

「プツマイスターの技術部門と緊密に協力し、このプロセスがうまくいくことを確認しました。このプロジェクトでは、彼らに頼って素早く答えを得ることができたことが、決定的な意味を持っていました。」とリワードフスキー氏はプロジェクトを振り返っておっしゃいました。 >>



ポンプオペレーターがこの計画に問題がないことを確認すると、台船の特注フレームに装置を組み立て、設置するのに6日ほどかかりました。「柔軟性に優れているため、1日でこのプランに対応することができました。」とのこと。チームは4本の柱それぞれに3～4回のコンクリート打設作業を行ないましたが、その総コンクリート量は268 m³になります。午前1時から12時間、1時間あたり約23 m³のコンクリートが打ち続けられ、生コンクリートの均等な流れが確保されました。夜間の暗い時間帯の作業は、気温が低く、コンクリートを長い時間にわたって処理することができるという利点がありました。

リワンドフスキー氏は、「オーバーヒートすることなく、また油圧装置に負担をかけることなく、これほど広い面積と長い時間にわたって重いセメントミックスを圧送できたのは、ポンプの性能のおかげです。」とおっしゃっていました。

天候への適応

Conco 社がプツマイスターのマシンを選んだもう一つの理由は、ボルト接続のために組み立てと分解が簡単で、定置式ブームを数分で移動できることでした。2022年にカリフォルニア州で歴史的な大雨が降り、河川が増水して建設現場全体が氾濫した際には、これのことが決定的に重要になりました。 >>



ポンプオペレーターは、.13 HPD コアポンプと MX32-36 ブームを備えた 39Z メートルトラックマウント式コンクリートポンプを使用して、4本の橋脚にコンクリートを打設した。カリフォルニアの太陽と暑さの中でのポンピング時間を最小に抑えるため、午前1時から12時間、1時間あたり約23 m³の連続ポンピングが行われた。



Putzmeister



HOME

PUTZMEISTER WORLD

「素早く設営・撤去ができることは、スケジュールを守り、任務を遂行する上で重要なファクターです。すべてをネジで固定する必要がないので、時間を節約することができました。すべてをスレッジハンマーで打てるボルトで固定しているため、迅速な組み立てと分解が可能です。」とリワードフスキー氏はおっしゃいます。

氏は、困難な状況下で効率的にコンクリートを打設するために、この設備が決定的な貢献をしたと確信しています。そして、橋梁床板のコンクリート打設の次の段階でも、この設備が同様に重要になると想定しています。

「何十万ドルという大金がかかっていましたが、私たちにはこの仕事に適したマシンがある、という確信がありました。私たちは自社の装置にとっても大きな信頼を寄せています。これらのマシンが現場にあれば、確実に仕事をこなすことができると確信できるのです。」とリワードフスキー氏は付け加えました。

開発者: カリフォルニア州運輸省 (Caltrans)

ゼネコン: American River Construction Consulting, Inc. (カリフォルニア州プラカビル)

コンクリート舗装業者: American River Construction Consulting, Inc (カリフォルニア州プラカビル)

コンクリート圧送業者: Conco Pumping and Belting, Inc.

生コン供給業者: CEMEX (カリフォルニア州サクラメント)

設備: プツマイスター製トラックマウント式コンクリートポンプ 39Z、
プツマイスター制定置式ブーム MX32-36 および MX34-38





成功したイベント： WORLD OF CONCRETE 2024

50周年を記念してラスベガス（米国）で開催された World of Concrete は、商業用コンクリートおよび建設業界にとって最高かつ最大の年次国際イベントです。

革新的な製品や技術、エキサイティングなデモンストレーションやコンペティション、そして業界をリードするサプライヤーによる屋内外の展示により、一流のトレーニングプログラムが紹介されました。例年通り、1週間にわたる見本市は恒例のプツマイスター VIP イベントで幕を開け、お客様とディーラーは Wynn Resort の Intrigue Nightclub で開かれた特別な夜に招待されました。350人を超えるお客様が会場を埋め尽くし、プツマイスターの社員やパートナーとの意見交換の場となりました。プツマイスターは、1,115 m² のブースと屋外エリアで、コンクリートおよびモルタル技術部門から 12 台のマシンを展示しました。その他のマシンは、Kenworth と Peterbilt のブースに展示されました。またプツマイスターのアフターセールスチームも参加し、マシンのコックピット、交換部品、配管技術など、製品やサービスの詳細なデモンストレーションを行ないました。展示されたマシンとサービスソリューションの組み合わせは、ブースを訪れた皆様の大きな関心を集めました。

39Z、42Z-5、47Z といった実績のある .16H ポンプに加え、新しい iLS コアポンプが 39Z、47Z iONTRON、60Z ポンプに装備されて紹介されました。新開発の「Intelligent Setup Assistant (インテリジェントセットアップアシスタント)」（ISA）は、米国でのみ使用されており、Telebelt 130 Generation 3 と、iONTRON 47Z のプロトタイプでデモンストレーションが行われました。BSA 1005 iONTRON プロトタイプと新世代の Magnum コンビネーションミキシングポンプも展示されました。

この見本市には、北中南米およびカリブ海諸国から合計 38 人の従業員と多数のディーラーが参加し、既存および将来のお客様との商談やミーティングの場となりました。

お客様、ディーラー、その他の見本市来場者の皆様からのフィードバックは、プツマイスターのブースがこの見本市で最高のものであったことを強く示唆するものでした。





Putzmeister



HOME

PUTZMEISTER WORLD

受注の新記録： 60 MIXOKRET M 760

プツマイスターをお選びいただきありがとうございます！

プツマイスターモルタルマシンは、特別なお客様の一人である VED 社に感謝の意を表します。このお客様は、2023 年に 60 台を超える Mixokret M 760 を揃え、全中東地域における単独のお客様による Mixokret 機の発注の記録を更新されました。



VED 社クルディズ氏とプツマイスター中東地域セールスおよびアプリケーションマネージャーのシマラ



MIXOKRET M 760 の詳細情報

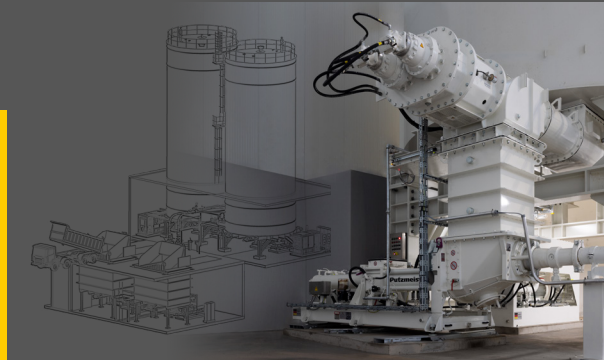


HOME
EVENTS

IFAT 2024

2024 年 5 月 13 日 ~ 17 日にミュンヘン・メッセで開催される世界有数の環境技術見本市、IFAT in Munich についてご案内いたします。

ホール B1、ブース 351 / 450 においてプツマイスターは、純正の S 字管ピストンポンプ、フィードスクリュウ、そしてプラントのプランニングから定期的なメンテナンスまで、プツマイスターが提供するさまざまなデジタル情報をご覧に入れます。プツマイスターインダストリーテクニクのチームは、活発な意見交換にさまざまな言語で対応いたします。汚泥やスラリーの処理に関するプロジェクト、プランニング、アイデアについてお話ししましょう。



ブースでミーティングのアポイントを取り、有用な人脈を築き、ビジネスを拡大するチャンスをつかんでください。



IFAT MÜNCHEN 2024 の詳細



Putzmeister



HOME

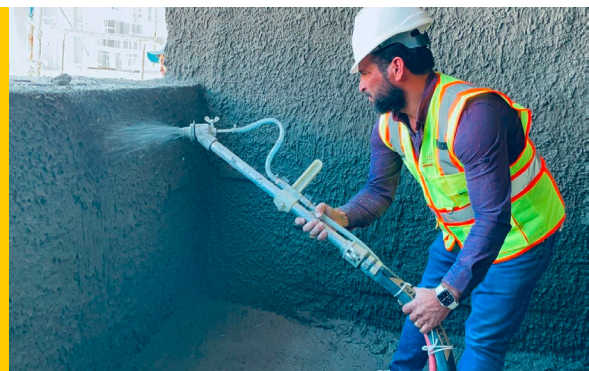
PUTZMEISTER WORLD

クウェートのイースト・サバ・アル・アフマド住宅施設プロジェクトでプツマイスターの機械が効率を改善

クウェートのイースト・サバ・アル・アフマド住宅施設プロジェクトは、住宅 1184 戸と公共施設、道路、駐車場、ネットワークインフラを建設するプロジェクトです。ここではプツマイスターの SP 11 LMR が活躍しています。

請負業者はかつて現場で漆喰を手作業で混ぜなければならなかったのですが、これは労働集約的な方法で、誤差が生じやすいものでした。より効率的なソリューションを探していた彼らは、SP 11 LMR を住宅プロジェクトの建設現場でテストしました。プロジェクトチームは非常な感銘を受けました。

SP 11 LMR の多用途性は、テストにおいて完全に実証されました。種々の混合比を驚くべきスピードで難くこなし、テスト中に作業を完了しました。試運転の成功に感銘を受けた請負業者は、迷わず SP11 LMR を 7 台購入し、イースト・サバ・アル・アフマドの住宅プロジェクトで左官作業を行いました。



SP 11 LMR の詳細



周年記念式典

プツマイスター ー南アフリカ 50周年



節目のお祝い：

50周年を祝うプツマイスター南アフリカ

半世紀にわたる献身的なサービスを記念して、プツマイスター南アフリカはリードポートのハニーデュー（南アフリカ、ヨハネスバーグ近郊）で50周年記念イベントを開催しました。

この祝賀会は素晴らしい節目だけではなく、同社の長い歴史、数々の成功、そして卓越性への絶え間ないコミットメントを称えるものとなりました。

また、経営陣による温かい歓迎の中で、プツマイスター南アフリカの献身的な取り組みに対する感謝の言葉も伝えられました。

プツマイスターは約70年にわたり、建築、建設、鉱業業界に多大な貢献をしてきました。こうした伝統の中で、プツマイスター南アフリカは先駆的な子会社として傑出した存在となっています。南アフリカのプツマイスターの歴史は、1973年にサントンのウインバーグで始まりました。1996年、同社はハニーデューに移転し、プツマイスター南アフリカは11人のチームとともに新たなスタートを切りました。 >>





数十年にわたり事業を拡大し、新たな仕事に挑戦し、業界特有のさまざまな課題を見事に克服して、この分野のリーダーとしての地位を確立してきました。プツマイスター南アフリカのポートフォリオには、ケーベルグ原子力発電所のコンクリートポンプ、ポンティ、ゴートレイン・プロジェクト、サントンのレオナルドホテル、その他南アフリカの主要都市を特長づける多くの建造物など、数多くの象徴的なプロジェクトを含むものとなっています。

サハラ以南のアフリカにおける事業拡大と主要プロジェクト：

プツマイスター南アフリカはそのプレゼンスを拡大し、サハラ以南の地域で主要なインフラプロジェクトを任せられるようになりました。これらのプロジェクトの一部を以下に紹介します。

東アフリカで最も高いビル：

2015年、建設界は当時東アフリカで最も高いビルの完成という驚くべきエンジニアリングと建築の偉業を目の当たりにしました。この象徴的な40階建てのビルは、プツマイスター機器の革新的な使用によって支えられた Estim Construction 社の卓越した能力の証となっています。2016年まで、このビルは国内で最も高いビルとしての地位を保ち、卓越した建築技術と都市開発の象徴となっていました。

タンザニアのルフィジ川ジュリアス・ニエレレ・ダムプロジェクト (2024年完成)：

2018年、タンザニアのルフィジ川におけるジュリアス・ニエレレ・ダムプロジェクトの建設において、重要なマイルストーンが達成されました。この野心的な2,115 MWの水力発電所プロジェクトのコンクリート打設は、プツマイスターの最新鋭の機器を使用し、6台のトラックマウント式コンクリートポンプにより完了しました。

カモア・カップー・リザーバー：

2018年、南アフリカのヨハネスバーグを拠点とし、当初からカモア・カクラ・プロジェクトに深く関わってきた DRA Global 社が、初期の冶金学的結果に基づくプロセス開発の責任を引き継ぎました。

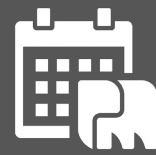
同社の骨の折れる仕事には、フェーズ1とフェーズ2の濃縮機から発生する廃棄物の流れ全体を処理する専用の独立型処理プラントを開発するための詳細な机上調査も含まれていました。この設計には、大容量の粉砕機や浮選用のジェムソンセル (Glencore 社所有) などの従来技術に加え、建設プロセスの最適化に重要な役割を果たすプツマイスターの地下技術を活用した濃縮能力の強化が盛り込まれました。

ムシカバ橋プロジェクト：

現在建設中：「ムシカバ橋」と呼ばれるメガブリッジは、マプト・カテンベ橋に次いでモザンビークで2番目に長い橋となります。ムシカバ・ブリッジの完成は2024年末の予定です。第一段階では、地上での最適な作業フローを確保するため、2台のBSF 36-4が両方のタワー基礎に使用されました。30m地点に到達するとすぐに、2台のBSA 1409 Dの出番となり、125mの高さまでコンクリートを圧送しました。

ジンバブエの鉱山プロジェクトにおけるBSA 定置式ポンプ：

ジンバブエでは今後2年間に、水力発電所への2,700 m³の鉄筋コンクリート製アクセス道路を含む、いくつかの採掘プロジェクトが計画されています。面積6,000 m²の石膏インフラも計画されており、2台のBSA 1005 D 2台と、1台のRV12 LIFT ラウンド打設機が使用されています。 >>



プツマイスター南アフリカの費用対効果の高い住宅プロジェクトのためのソリューション

プツマイスターの未来ビジョンには、「住宅とインフラが手頃な価格で持続可能な世界」が含まれます。このことは、KARLOS と呼ばれる画期的なイノベーションの導入により、地域の多くの人々が直面している住宅問題への野心的な対応となって実現しています。この 3D プリントシステムは、コストを大幅に削減し、工事現場の安全性を向上させるだけではありません。とりわけ KARLOS は従来の工法と比較して建設効率の著しい向上を約束し、費用対効果の高い住宅プロジェクトにとって実行可能なソリューションとなることでしょう。



人が違いを生む

マシンとプロジェクトに囲まれたプツマイスター南アフリカではありませんが、その特長は何よりも人にあります。記念式典という特別な機会にプツマイスターのシャツを着用した意欲あふれる従業員たちは、最高のパフォーマンスを求めて奮闘する、息の合ったチームです。このチームは、会社を現在の成功に導くことにおいて決定的な役割を果たしてきました。

大切なお客様

プツマイスター南アフリカの成功は、お客様からの絶え間ない信頼とサポートなしにはあり得ませんでした。これらのお客様は単にお客様というだけでなく、各分野の先見的リーダーであり、先駆者であり、開拓者でもあります。その業績は、プツマイスター南アフリカに対する揺るぎないビジョン、決意、信頼の証でもあるのです。



創設者からのメッセージ

また、プツマイスターの創設者であるカール・シュレヒトもビデオを通じてこの記念すべき式典に参加し、プツマイスター南アフリカの過去 50 年にわたる目覚ましい活躍を称え、今後の発展を祈念しました。シュレヒトはすでにグローバル企業となったプツマイスターに直接関わることはなくなりましたが、プツマイスター南アフリカは今でも彼にとって身近な存在です。 >>



スピーチでは、建築・建設・鉱業業界における信頼と革新を促進するために、プツマイスターの専門知識が重要であることを強調しました。この信頼は、卓越した品質の製品にとどまらず、お客様との関係を築き、維持するために同社の意欲あふれる従業員が果たす中心的な役割も含むものです。

未来への展望

将来を見据えるプツマイスター南アフリカは、常に革新の限界を押し広げ、卓越性を提供し、業界内の可能性を再定義するという目標に忠実であり続けます。プツマイスター南アフリカは単なる企業ではなく、成功の遺産を体現し、先見的なアプローチと永続的なコミットメントを体現する存在となっています。

結びの言葉

式典は、フリードリヒ・アルフレッド・クルップの言葉「小さく始め、困難を忍び、偉大さを目指す」で締めくくられました。

プツマイスター南アフリカの過去 50 年にわたる成功は、お客様第一のアプローチ、揺るぎないチームスピリット、高品質の製品提供、そして技術革新への確固たるコミットメントによるものです。

イベントの最後には抽選会が行われ、幸運な当選者 1 名に 2024 年にプツマイスター本社を訪問する旅行がプレゼントされました。参加者には、プツマイスター南アフリカの創業 50 周年を記念して、特別に醸造されたビールと刻印入りのジョッキが贈られました。

(テキスト: セレステ・ロンバール、ルディ・マイバーク)





Putzmeister



HOME

PUTZMEISTER WORLD

AGGREGATE INDUSTRIES 社の eMIXER 2 号機



Aggregate Industries 社は保有車両を拡大し、カーボンニュートラルへの継続的な取り組みの一環として、新たに電動コンクリートミキサーを導入しました。

レスターシャーに英国グループ本社を置くこの大手建設材料サプライヤーの最新の電気自動車 (EV) 保有拡大は、バーミンガムにあるコールズヒル生コン工場に対するものでした。

この電動コンクリートミキサーはウェストミッドランズ地方向けのもので、コールズヒルとキングスベリーロードの両地区で現在進行中の HS2 (高速鉄道 2 号線) 工事に使用されます。

コンクリート技術のトップメーカーのひとつであるプツマイスターは、iONTRON ブランドで全電動式

eMixer を提供しています。350 kW/h のバッテリーを搭載した電動式トラックは、親会社である SANY より提供されます。eMixer はゼロエミッションを保証し、輸送中および工事現場での騒音を大幅に低減します。

iONTRON eMixer のドラム容量は 9 m³ で、都市部で最大 8 時間の運転が可能です。

EV フリートと蓄電池のスペシャリストである Zenobē 社は、コールズヒルの工場に 120 kW/h の充電器を備えた eMixer の充電インフラを提供しました。また Zenobē 社は、eMixer の充電挙動を監視し、車両のバッテリーの運用性能に関する貴重な洞察を得るために、EV 充電ソフトウェアも統合しました。そのデータは、Aggregate Industries 社の保有車両の電動化についての長期戦略の策定と実施に用いられます。 >>



この車両は、Aggregate Industries 社が保有する eMixer 車としては、5月にロンドンに最初に投入した車両に続く 2 台目の eMixer 車となります。今後数ヶ月のうちに、バーミンガムに 2 台目のプツマイスター iONTRON eMixer が追加される予定です。

Aggregate Industries 社の生コン部門の責任者であるゲイリー・ブレナンド氏は、「プツマイスター社との提携により、最新の電動ミキサー車を迎えることができ、嬉しく思います。私たちの使命は、革新的で持続可能な建築資材の英国市場リーダーとなり、建設業界の脱炭素化を実現することです。保有車両、機械、システムの電化はそのための不可欠な要素であり、カーボンニュートラル目標の達成に役立っています。

これはウェストミッドランズで使用される 2 台目の電気式ミキサー車であり、当社の CO2 排出の少ない製品とともに、同地域の HS2 建設を支援しています。従来のミキサー車はディーゼル燃料を使用するため、排出ガスゼロの車両を走らせることは、私たちのビジネスにとって非常に前向きな一歩です。

目標までの道のりはまだはるかですが、技術が発展し、インフラが整備されれば、達成速度は向上していくことでしょう。」とお話ししてくださいました SANY eTrucks の事業開発責任者であるケビン・アイヒェルは、「都市部においては、電気トラックは本当にこれまでの輸送手段の代替案となるものです。特にその性能と騒音レベルの低さはドライバーにとって好ましいものでしょう。Aggregate Industries 社とともにこの革新的な変革を始められることをとてもうれしく思います。」と語っています。Zenobē 社の共同設立者であり取締役であるスティーブン・マースマン氏は、「これは、異業種間の協力により、大型車両の電動化のためのソリューションが容易に実現可能であることを示すものです。Aggregate Industries 社の電動車両への 2 台目の eMixer の統合を可能にするために、当社の充電インフラとデータに関する専門知識、および大規模車両の電動化における実績ある経験を提供できることをうれしく思います。」と話しています。

Aggregate Industries 社の全電動ミキサー車

100 % 電気式

走行	電気トラック 8x4 SANY 408P
混合	電気構造 P9G iONTRON

100 % 環境にやさしい

CO2 排出量	最大ゼロ*
騒音	大幅に低減
燃費	ディーゼル燃料ゼロリットル
走行中の eChass の消費量 (空荷時)	120 kWh/100 km

100 % 実用的

作業環境**	350 kWh – 約 8 時間 都市部での運転
充填度と積載量	定格充填量 9 m ³ 、従来のミキサーと同等
バッテリー	一の充電 標準 CCS Combo2 (最大 250 kW)
許容総重量	32 t
技術的許容重量	38 t (7.5 / 7.5 / 11.5 / 11.5)



WWW.AGGREGATE.COM



* 地域の電力構成によって異なる
** 積載量、運転様式、天候などの外部要因によって異なる



PUTZMEISTER HOLDING GMBH
TEL. +49 (7127) 599-0
FAX +49 (7127) 599-520
WWW.PUTZMEISTER.COM

FOLLOW US:



Putzmeister